

ふくおか・まごころ駐車場制度にご協力を

■「ふくおか・まごころ駐車場制度」とは

車の乗り降りや移動に配慮が必要な障害のある人や高齢者、妊産婦等が、障害者用の駐車場などに車を止め、安全・安心に施設を利用できるようにする制度です。「ふくおか・まごころ駐車場」に登録された



商業施設や公共施設などの駐車場が利用できる制度です。



詳細は各区役所「高齢者・障害者相談」コーナーへ。

■制度への理解と適正利用にご協力を

利用証を持たない人が、ふくおか・まごころ駐車場に車を止めている場合があります。本来に必要な人がいつでも利用できる「思いやりのまちづくりに」ご協力をお願いします。



問 保健福祉局障害福祉企画課 ☎582・5400へ。

「ハート・プラスマーク」をご存知ですか



ハート・プラスマークとは、身体内部に障害のある人を表すマークです。

身体内部(心臓、呼吸器、腎臓、膀胱・直腸、小腸、免疫、肝臓機能)に障害のある人は、そ

「ヘルプマーク」と「ヘルプカード」をご存知ですか



「ヘルプマーク」は、外見から分かりにくい障害などのある人が、周囲の人に配慮を必要としていることを知らせる「助け合いのしるし」のマークです。「ヘルプマーク」がデザインされた「ヘルプカード」は、障害の特



ものです。「ヘルプカード」を提

示されたら、その記載内容に沿って必要な支援をお願いします。

対象者には、ヘルプカードを各区役所「高齢者・障害者相談」コーナーなどで配付しています。

問 保健福祉局障害福祉企画課 ☎582・2453へ。

東京オリンピックピックに向けて 誰よりも速い歩みで

北九州市立高等学校3年 藤井菜々子さん(戸畑区・18歳)

VOL.90 ひまわり 市花の「ひまわり」のような明るい話題をお届けします。



競歩を始めて3カ月で全国高校総体(インターハイ)優勝。その競技歴の短さに注目が集まるが、実は小学3年生から陸上に打ち込み、短・中距離種目を中心に活躍してきた実力派だ。

リンピック選手を間近に見ると、自分のやる気がぐっと上がるのを感じました。

昨年、えひめ国体・陸上成年女子5000m競歩で21分33秒44のU20日本新記録を樹立して優勝した後は、東京オリンピックでの活躍が期待できる次世代の競歩者として日本陸上競技連盟から「ダイヤモンドアスリート」に認定されるなど、快進撃が続いている。

ダイヤモンドアスリートには、高い競技力だけでなく豊かな人間性を持ち、世界で活躍する選手に成長することが求められる。育成プログラムを受講するうちに「英語も勉強して海外でも戦える国際人になりたい」と自身の進むべき道がはつきり見えてきた。

この冬には、日本のトップレベルの選手が国際競争力を強化するための施設・味の素ナショナルトレーニングセンター(東京都での合宿も体験した。「設備が充実しているし、テレビで見たことのあるオ

も味わたったが、今ではこの競技の面白さが分かる。「レース中にライバルたちと駆け引きができるのが魅力。わざと、いったん順位を落としてみたりします」と強気な一面をのぞかせ



▲インターハイ(平成29年・山形県)で2連覇

高校卒業後は実業団へ進む予定だ。「勝負となったら、どんな勝負でも勝ちたい」。この街から世界に、一人のアスリートが大きく羽ばたく。